平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場会社名　一正蒲鉾株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2904　URL　http://www.ichimasa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野崎　正博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長　(氏名) 真保　俊男　TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日　平成23年5月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	23,771	3.9	1,636	△31.2	1,625	△30.4	911	△41.0
22年6月期第3四半期	22,869	3.8	2,377	84.1	2,334	95.9	1,543	81.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	98.38	―
22年6月期第3四半期	166.60	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	19,028	6,625	34.8	715.25
22年6月期	18,894	5,825	30.8	628.87

(参考) 自己資本　23年6月期第3四半期　6,625百万円　22年6月期　5,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	―	0.00	―	8.00	8.00
23年6月期	―	0.00	―		
23年6月期(予想)				10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	2.3	1,520	△24.8	1,550	△21.8	740	△41.1	79.87

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年6月期3Q	9,295,000株	22年6月期	9,295,000株
② 期末自己株式数	23年6月期3Q	31,672株	22年6月期	31,012株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年6月期3Q	9,263,756株	22年6月期3Q	9,264,912株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. その他の情報 …… 4
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3. 四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書
【第３四半期連結累計期間】 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成22年７月１日～平成23年３月31日）におけるわが国経済は、円高傾向の継続、中東諸国の政情不安等による資源価格の高騰、雇用情勢の厳しさに加え、３月11日に発生した東日本大震災のため、不透明感が一段と顕著なものとなりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、長引く景気低迷、東日本大震災による自粛ムードの中、消費者の節約志向・低価格化志向、競合企業との激しい価格競争が恒常化し、当社グループ製品の販売環境は厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高237億71百万円(前年同四半期比９億１百万円(3.9%)の増加)、営業利益16億36百万円(前年同四半期比７億41百万円(31.2%)の減少)、経常利益16億25百万円(前年同四半期比７億９百万円(30.4%)の減少)、四半期純利益９億11百万円(前年同四半期比６億32百万円(41.0%)の減少)となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下の通りであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、消費者の節約志向と低価格商品への志向は引き続き強いものがあり、販売状況は厳しい状態で推移いたしました。

主な商品部門別の販売状況といたしましては、比較的気温変動の影響を受けにくい「調理済み」おでん部門が順調に推移し、「揚物」部門においては新商品の投入が売上伸長に寄与、「シーサラダ」部門においては販売促進活動の推進により、売上は順調に推移いたしました。

一方、「蒲鉾」「はんぺん」「竹輪」部門におきましては、商品リニューアル・拡販施策を実施したものの、特に低価格商品における競争の激化などの影響もあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は197億22百万円（前年同四半期比６億98百万円(3.7%)の増加）、営業利益は５億35百万円となりました。

② きのこ事業

当セグメントにおきましては、気象条件による相場の変動、昨年からの健康効果期待のきのこ需要が落ち着いたことで、低価格傾向のマーケット環境の影響を受けました。そのような環境下、主力顧客への販売強化を継続的に取り組んできたことなどにより前年同四半期を上回る売上を確保できました。

以上の結果、当セグメントの売上高は36億26百万円（前年同四半期比１億81百万円(5.3%)の増加）、営業利益は10億51百万円となりました。

③ その他

（運送・倉庫事業）

運送部門におきましては、一般顧客との取引深耕に加え、新規取引先の売上拡大により売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫部門におきましては、すり身は新規入庫量の減少により前年同四半期の売上を下回ったものの、一般貨物においては新規入庫が伸長し、全体として売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当部門の売上高は２億52百万円（前年同四半期比28百万円(12.9%)の増加）となりました。

（ゴルフ場事業）

当部門におきましては、景気低迷や夏季における猛暑等の影響を受けたことに加え、競合コースとの価格競争の激化が続き、来場者数、売上高とも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当部門の売上高は１億69百万円（前年同四半期比６百万円(3.9%)の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

① 流動資産

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は55億９百万円（前連結会計年度末比２億52百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による受取手形及び売掛金の増加６億76百万円及びたな卸資産の減少３億84百万円によるものであります。

② 固定資産

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は135億19百万円（前連結会計年度末比１億18百万円の減少）となりました。これは主に減価償却進行による有形固定資産の減少２億48百万円によるものであります。

③ 流動負債

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は77億98百万円（前連結会計年度末比16億99百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の減少15億84百万円によるものであります。

④ 固定負債

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は46億４百万円（前連結会計年度末比10億33百万円の増加）となりました。これは主に社債の発行５億円及び長期借入金の増加４億88百万円によるものであります。

⑤ 純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により66億25百万円（前連結会計年度末比７億99百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の30.8％から34.8％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金は12億56百万円(前年同四半期比16億20百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の減少及び法人税等の支払額の増加によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は５億40百万円(前年同四半期比２億99百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出及び火災保険の契約更新等に伴う長期前払費用の支出の増加によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は、７億64百万円(前年同四半期比14億22百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出の減少及び社債の発行による収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初予想した状況で推移しており、平成22年７月30日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項ありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については連結会計年度に係る減価償却費の額を期間案分して算定する方法によっております。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年３月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ63千円、税金等調整前四半期純利益は18,366千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18,380千円であります。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号　平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年３月24日　内閣府令第５号)の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,333	932,051
受取手形及び売掛金	2,849,020	2,172,413
商品及び製品	245,899	365,888
仕掛品	260,504	262,323
原材料及び貯蔵品	1,099,661	1,362,673
その他	224,498	171,225
貸倒引当金	△440	△9,378
流動資産合計	5,509,477	5,257,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,881,194	5,125,867
機械装置及び運搬具（純額）	1,881,321	1,975,393
工具、器具及び備品（純額）	139,292	159,594
土地	4,169,808	4,169,808
リース資産（純額）	31,926	10,250
建設仮勘定	93,906	4,987
有形固定資産合計	11,197,450	11,445,900
無形固定資産	242,751	234,054
投資その他の資産		
投資有価証券	1,402,055	1,432,539
その他	744,824	594,417
貸倒引当金	△68,012	△69,467
投資その他の資産合計	2,078,867	1,957,489
固定資産合計	13,519,069	13,637,444
資産合計	19,028,546	18,894,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,403,152	1,278,763
短期借入金	4,460,368	6,044,623
未払法人税等	319,047	727,515
賞与引当金	200,819	92,994
役員賞与引当金	－	14,400
未払金及び未払費用	1,212,858	1,170,847
その他	202,237	169,093
流動負債合計	7,798,484	9,498,237
固定負債		
社債	500,000	－
長期借入金	3,404,130	2,915,410
退職給付引当金	843	685
役員退職慰労引当金	435,921	417,764
その他	263,594	236,682
固定負債合計	4,604,489	3,570,542
負債合計	12,402,973	13,068,780

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年３月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,928,021	4,090,817
自己株式	△16,054	△15,750
株主資本合計	6,501,966	5,665,067
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,606	160,794
評価・換算差額等合計	123,606	160,794
純資産合計	6,625,573	5,825,862
負債純資産合計	19,028,546	18,894,642

(2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成21年７月１日 至 平成22年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成22年７月１日 至 平成23年３月31日）
売上高	22,869,279	23,771,223
売上原価	15,531,291	17,007,425
売上総利益	7,337,988	6,763,797
販売費及び一般管理費	4,960,333	5,127,562
営業利益	2,377,654	1,636,235
営業外収益		
受取利息	794	212
受取配当金	9,520	10,799
受取賃貸料	16,485	17,285
受取手数料	18,873	31,197
雑収入	31,112	29,922
営業外収益合計	76,785	89,417
営業外費用		
支払利息	118,979	92,075
雑損失	553	8,091
営業外費用合計	119,532	100,166
経常利益	2,334,907	1,625,486
特別利益		
固定資産売却益	1,217	5
貸倒引当金戻入額	6,842	10,108
受取保険金	－	8,429
その他	23	791
特別利益合計	8,083	19,334
特別損失		
固定資産売却損	77	－
固定資産除却損	10,146	7,314
投資有価証券売却損	6,455	－
投資有価証券評価損	726	364
災害による損失	－	7,539
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	18,303
特別損失合計	17,405	33,521
税金等調整前四半期純利益	2,325,585	1,611,299
法人税、住民税及び事業税	1,029,658	712,136
法人税等調整額	△247,594	△12,183
法人税等合計	782,063	699,952
少数株主損益調整前四半期純利益	－	911,346
四半期純利益	1,543,521	911,346

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成21年７月１日 至 平成22年３月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成23年３月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,325,585	1,611,299
減価償却費	780,803	750,156
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	18,303
のれん償却額	2,814	2,810
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△37,155	△10,393
賞与引当金の増減額（△は減少）	86,922	107,824
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△14,400
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	18,663	18,156
受取利息及び受取配当金	△10,315	△11,010
支払利息	118,979	92,075
固定資産売却損益（△は益）	△1,139	△5
固定資産除却損	10,146	7,314
売上債権の増減額（△は増加）	△396,488	△676,006
たな卸資産の増減額（△は増加）	904	384,819
仕入債務の増減額（△は減少）	260,982	124,389
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	157,679	5,004
未払消費税等の増減額（△は減少）	△37,102	37,228
その他	△79,011	△69,056
小計	3,202,270	2,378,511
法人税等の支払額	△324,540	△1,121,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,877,730	1,256,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	46,092	52,782
有形固定資産の取得による支出	△277,873	△414,395
有形固定資産の売却による収入	1,325	50
投資有価証券の取得による支出	△44,396	△18,547
投資有価証券の売却による収入	35,443	13,100
利息及び配当金の受取額	11,009	11,962
長期前払費用の取得による支出	－	△169,476
その他	△13,327	△16,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,726	△540,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,908,000	△807,000
社債の発行による収入	－	500,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,610,014	△1,788,535
利息の支払額	△117,031	△90,600
配当金の支払額	△50,979	△74,142
その他	△1,781	△4,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,187,806	△764,828
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	448,197	△48,935
現金及び現金同等物の期首残高	253,219	521,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,416	472,302

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年３月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主として食品製造販売を行っており、製造品目は魚肉すり身を主原料とする「水産練製品・惣菜」と「きのこ類」に大別されております。

従って、当社グループは製品別のセグメントから構成されており「水産練製品・惣菜事業」「きのこ事業」の２つを報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間(自 平成22年７月１日 至 平成23年３月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,722,518	3,626,096	23,348,614	422,609	23,771,223	―	23,771,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	1,168,394	1,168,394	△1,168,394	―
計	19,722,518	3,626,096	23,348,614	1,591,003	24,939,617	△1,168,394	23,771,223
セグメント利益	535,338	1,051,810	1,587,148	40,206	1,627,355	8,880	1,636,235

(注)１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

２ セグメント利益の調整額8,880千円は、主にセグメント間取引消去であります。

３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。